

サンフランシスコ市の概要

サンフランシスコ市は、アメリカ合衆国のカリフォルニア州に属し、太平洋西海岸のほぼ中央に位置し、東西に12km、南北に10kmと思いのほか小さな街であるが、ロサンゼルス市とともに合衆国西岸の二大都市である。

1776年、スペイン人の入植により始まった都市で、1848年に合衆国の領土となり、サンフランシスコと命名され、1850年にサンフランシスコ市制が発足した。

1906年の大地震で街の大半が崩壊したが、その後、10年近くかかり近代都市計画が行われた。現在ではアメリカ合衆国の西海岸でロサンゼルス市と並ぶ商工業、港湾都市として繁栄している。

花と坂と霧の都として、坂道を走るケーブルカー、ゴールデングリッジ、ベイブリッジ、アルカトラズ島など、島、丘、海峡等の地理的状況を巧みに利用した観光資源が凝縮されている。昨今、米国に対するテロ攻撃の懸念、イラク攻撃、SARSといった一連の事件による米国向け旅行を控える傾向にあり、特に海外からの旅行者数が低迷してきていたことから市当局では、2004年年初から「Only in San Francisco」と称した観光誘致プロモーション活動を実施しており、サンフランシスコ固有の観光資源についてメディアを通じてPRを行っている。

また近年では、クルーズ船の誘致にも力を入れ、1990年には3万5千人であった乗客数が、2005年には88隻の大型クルーズ船が寄港し、乗客数が約6倍にあたる20万8千人にまで増加した。

さらに、サンフランシスコ市は国際会議の誘致にも精力的で、会議場から歩ける範囲に多数の宿泊施設があることや、市内に有数の観光スポットがあることを強調しつつ、2005年にはMoscone Convention Centerにおいて60のコンベンションが開催され、80万人もの出席者を誘致して

いる。















このように、観光は、サンフランシスコ市の歳入において最も大きなウェイトを占める産業となっており、旅行者が利用するホテル、公共交通機関、レストラン、エンターテインメント、小売店等において多大な雇用と税収を創出している。

2005年、サンフランシスコ市を訪れた旅行者は1,574万人、その内、カナダ、メキシコを除く外国人旅行者は212万人で、日本人は26.8万人、イギリスに次いで第2位（全体の約13%）となっている。

そのサンフランシスコ市と大阪市とは1957年10月7日に姉妹都市提携がなされ、お互いに最も古い姉妹都市となっている。

友好姉妹都市

サンフランシスコはSister Cities International, Inc. (SCI)によって指定された、14の姉妹都市を有している:

-  アビジャン（コートジボワール共和国）
-  アッシジ（イタリア共和国）
-  カラカス（ベネズエラ・ボリバル共和国）
-  コーク（アイルランド島）
-  ハイファ（イスラエル国）
-  ホーチミン（ベトナム社会主義共和国）
-  マニラ（フィリピン共和国）
-  大阪市（日本）
-  ソウル特別市（大韓民国）
-  上海（中華人民共和国）
-  シドニー（オーストラリア連邦）
-  台北市（中華民国）
-  テッサロニキ（ギリシャ共和国）
-  チューリッヒ（スイス連邦）

国)

サンフランシスコの人口

人口及び世帯数 (2000年)

人口 776,733人

(男: 394,828人 女: 381,905人)

世帯数 329,700世帯

※国勢調査は、10年に一度実施のため最新の人口等の統計は、2000年度分

サンフランシスコ市の人口は、2000年の国勢調査では776,733人であるが、これは半島の先端部分の狭い市域に住む人口で、経済圏、生活圏として一体をなすサンフランシスコ湾岸の都市と合わせた、ベイエリアの人口は600万人を超える。

サンフランシスコ市政

サンフランシスコ市は、City and County of San Francisco と称し、市とカウンティ (郡) の二重の行政機構となっている。

市長: ギャビン・ニューソム (Gavin Newsom)

2004年1月8日就任

市長は、市民による直接選挙で選ばれ、任期は4年。

市長は、すべての市法令を執行する義務を負うとともに、自己の管理下にあるすべての市行政に責任を負う。また、市議会を通過したいかなる条例も拒否する権利を持ち、拒否した条例の再考を市議会に命じることもある。

市長の主な権限は、市職員、委員会などのメンバーの任命権と、市議会に提案する年間予算の編成である。

